

(令和3年10月25日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

移動平均線・その4 (短期、中期、長期の移動平均線)

移動平均線について、その4。今回は短期、中期、長期の移動平均線、3本の移動平均線をみての判断です。例えば日足、短期の移動平均線(7日)・中期(25日)・長期(75日)の期間設定で位置関係をみる場合、短期(7日) < 中期(25日) < 長期(75日)であれば下落トレンド、長期(75日) < 中期(25日) < 短期(7日)であれば上昇トレンドとなります。グラフは、20年11月から21年3月にかけては、長期 < 中期 < 短期のパターンで、上昇トレンドが長く続いています。なお、日足、週足、月足などでの期間の設定は、各自で設定です。

(TOPX・日足) 赤線が7日、緑が25日、青が75日移動平均線



All Copyright © ゴールデン・チャート社

このように3本の移動平均線で局面をみる場合、「トレンド判断」に有効です。ただ、前回その3ゴールデン・クロス、デッド・クロスでも述べましたが株価の動きとの関係、売買タイミングとしては、リバウンド局面(グラフでは20年3月)、急騰後の反落時などエントリーが遅くなることがあるので、移動平均乖離率などの他の指標を含めた総合的な判断が求められます。

(了)